



山口県内経済の動き

山口県内景気は、一部で足踏みが見られるものの 総じて緩やかに回復している

現状



輸出額は3ヶ月連続で前年を下回るなど弱めの動きとなる一方、生産は化学等が上昇し、全体の指数も4ヶ月ぶりに前月比プラスとなった。また、有効求人倍率は2ヶ月連続で1.3倍超となり、実質賃金もプラス。消費者物価指数が高止まる状況下で、個人消費は百貨店・スーパー販売額などで持ち直しの動きがみられる。設備投資も増加傾向にあるなど、県内景気は総じて緩やかに回復している。

先行き



昨今の物価上昇に伴う企業収益や消費行動への影響に加え、イラン情勢不安定化の下でのホルムズ海峡封鎖による原油高等の経済的影響を注視する必要があるものの、企業収益の先行きは不透明であるため、天気マークは「曇」のままとした。

	景況判断		コメント
	方向		
雇用情勢			有効求人倍率は2ヶ月連続で1.3倍超（2月）、実質賃金は2カ月連続で前年比プラスとなる（1月）。
個人消費			百貨店・スーパー販売額が16ヶ月連続で前年を上回るなど、全体として着実に持ち直している（2月）。
観光			主要観光施設の利用者・宿泊者数は、持ち直しの動きが一服（1月）。
住宅建築			持家、分譲ともに前年比マイナスとなり、全体として弱めの動きとなっている（2月）。
公共工事			公共工事請負金額は、国、県、市町からの発注が増加し、3ヶ月連続で前年比プラスとなるが、全体として横ばい圏内の動きとなっている（2月）。
倒産			負債総額は2ヶ月連続で前年比マイナスとなるも、全体としては横ばい圏内で推移している（2月）。
生産活動			鉱工業生産指数は化学等の上昇もあり、4ヶ月ぶりに前月比プラスとなるが、全体として横ばい圏内の動きとなっている（1月）。
輸出			輸出額は3ヶ月連続で前年を下回り、全体として弱めの動きとなっている。貿易バランスは37ヶ月連続の出超（2月）。
設備投資			2025年度の設備投資計画額は、5年連続の前年比プラス（当研究所が2月に実施した「企業経営・設備投資動向調査」による）。

* 「景況判断」は、現在の水準を5段階の天気マーク（晴、晴一部曇、曇、曇一部雨、雨）で表示
「方向」は、前月からの基調としての変化方向（好転・不変・悪化）。好転・悪化における実線の矢印は、天気マークの変化を伴うもの、点線は天気マークが変化しないもの。

<主要経済指標の動き> (前年同月との比較)

	2025年												2026年	
	2月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	
有効求人倍率	●	●	●	—	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
所定外労働時間（製造業）	○	○	●	●	●	○	●	—	●	●	●	●	△	
百貨店・スーパー販売額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
乗用車新車販売台数	○	○	○	●	○	●	●	●	●	●	○	●	●	
新設住宅着工戸数	○	●	○	●	●	●	●	○	●	●	●	○	●	
公共工事請負金額	●	○	●	●	●	●	●	○	●	●	○	○	○	
企業倒産件数	○	○	○	○	○	●	●	○	●	○	●	○	○	
鉱工業生産指数	○	○	●	○	●	●	●	○	○	●	●	●	△	
輸出額	○	○	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	

○：好転 ●：悪化 —：横ばい

* 鉱工業生産指数は原指数、所定外労働時間は事業所規模5人以上、百貨店・スーパー販売額は全店舗、乗用車新車販売台数は軽乗用車含む、有効求人倍率は原数値

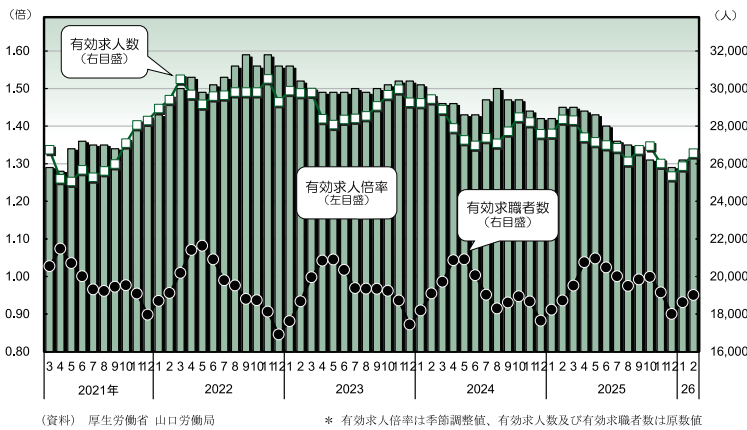
1

雇用

有効求人倍率は2ヶ月連続で1.3倍超、実質賃金はプラスとなる

有効求人倍率（2月：前月比+0.02ポイント、季節調整値）は1.33倍と2ヶ月連続で1.3倍超となる。**新規求人数**（2月：前年比▲4.9%、パートを含む原数値）が10ヶ月連続の前年比マイナス。業種別にみると、運輸業、郵便業、卸売業・小売業等で減少。**職安別の有効求人倍率**（2月、パートを含む原数値）をみると、下関が1.75倍で最も高く、防府が1.08倍で最も低い水準。

有効求人倍率（有効求人人数・有効求職者数）の推移



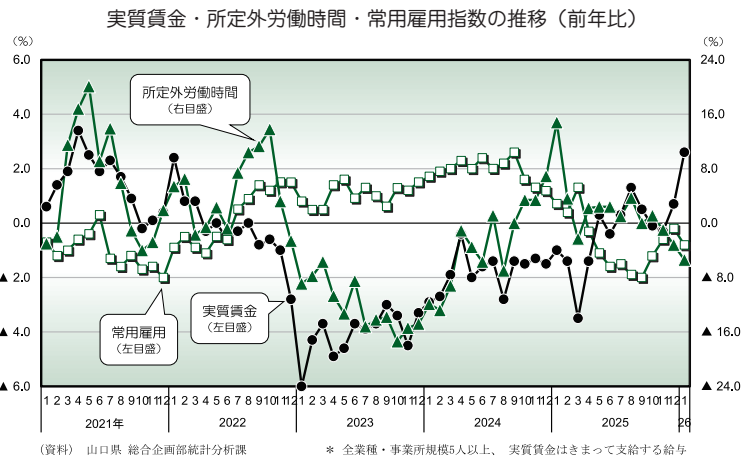
有効求人倍率（2026年2月）

(単位：倍、ポイント)

	2026年2月			2026年2月	
	前年比		前年比		
山口	1.41	▲0.27	徳山	1.41	▲0.22
下関	1.75	+0.08	下松	1.19	▲0.01
宇部	1.59	▲0.15	岩国	1.15	▲0.22
防府	1.08	▲0.22	柳井	1.16	+0.11
萩	1.41	+0.01	全県	1.33	▲0.12

(資料) 厚生労働省 山口労働局
* 数値及び前年比は原数値（全県の数値は季節調整値）

実質賃金（1月：前年比+2.6%、全業種・事業所規模5人以上）は2ヶ月連続で前年比プラス（名目賃金：同+3.5%）。**所定外労働時間**（1月：同▲5.4%）および**常用雇用**（1月：同▲0.8%）はいずれも前年比マイナスとなる。



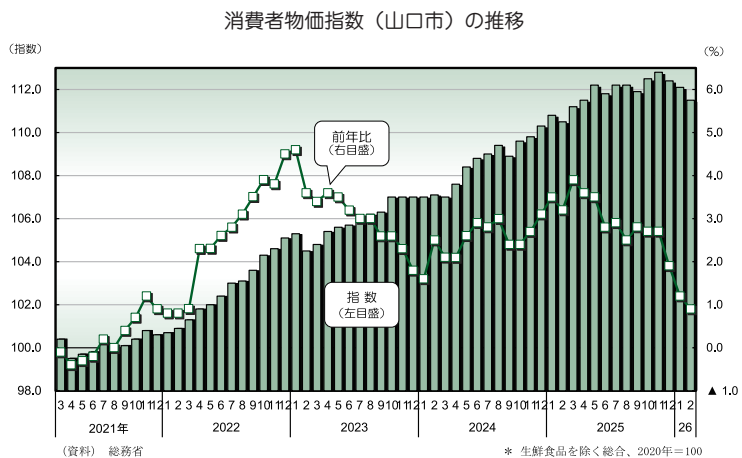
実質（名目）賃金・所定外労働時間・常用雇用指数
（2026年1月、25年1-12月平均）（単位：指数、%）

	2025年 1-12月		2026年 1月	
	指数	前年比	指数	前年比
名目賃金	108.8	+3.0	110.2	+3.5
実質賃金	95.4	▲0.3	96.0	+2.6
所定外労働時間	95.2	+1.8	94.6	▲5.4
常用雇用	101.6	▲0.7	101.6	▲0.8

（資料）山口県 総合企画部統計分析課
* 全業種、事業所規模5人以上 名目・実質賃金はきまって支給する給与

2 物 価 生鮮食品を除く総合指数は54ヶ月連続の前年比プラス

消費者物価指数（生鮮食品除く）（2月：前年比+0.9%）は54ヶ月連続で前年を上回り、依然高い水準を維持している。費目別では、米や野菜等が値上がりした「食料」（同+4.5%）、「家具・家事用品」（同+1.8%）が前年比プラスとなった。



消費者物価指数（2026年2月、26年1-2月平均）

（単位：指数、%）

	2026年 2月		2026年 1-2月	
	指数	前年比	指数	前年比
食料	130.9	+4.5	131.0	+4.1
住居	104.4	▲0.2	104.4	▲0.1
光熱・水道	105.2	▲2.5	110.3	▲0.9
家具・家事用品	128.7	+1.8	127.9	+1.0
被服及び履物	108.7	▲0.2	109.2	+0.2
保健医療	105.5	▲0.2	106.5	+0.6
交通・通信	101.7	▲1.5	101.6	▲1.5
生鮮食品除く総合	111.5	+0.9	111.8	+1.0

（資料）総務省 * 2020年=100

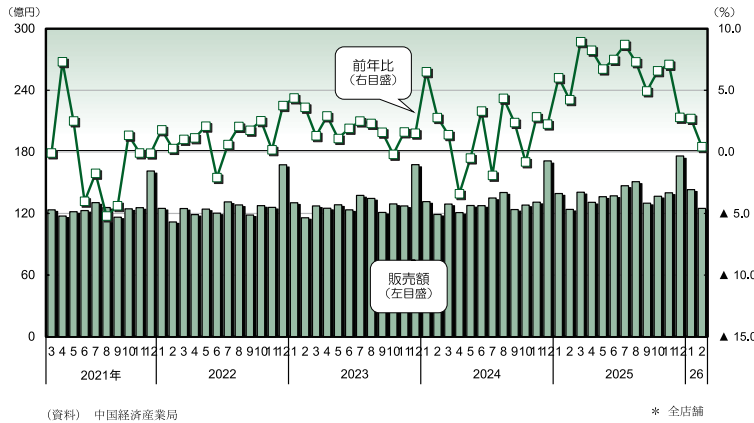
3

消費

百貨店・スーパー販売額が前年比プラスとなる等、持ち直しの動き

百貨店・スーパー販売額（2月：前年比+0.4%）は16ヶ月連続で前年を上回った。商品別にみると、**衣料品**（同▲7.2%）は前年比マイナスとなるが、**身の回り品**（同+1.0%）**飲食料品**（同+0.2%）、**家庭用品**（同+4.4%）等は前年比プラスとなり、全体では前年を上回る水準となった。

百貨店・スーパー販売額の推移



百貨店・スーパー販売額
(2026年2月、26年1-2月累計) (単位：億円、%)

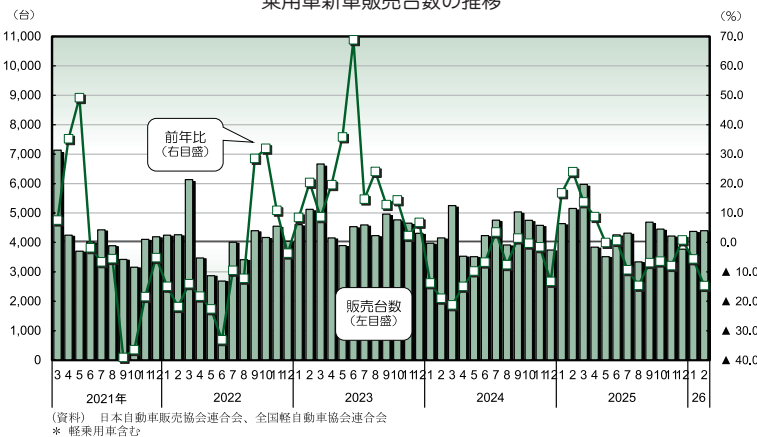
	2026年		2026年	
	2月	前年比	1-2月	前年比
衣料品	7	▲7.2	18	▲4.1
身の回り品	3	+1.0	6	+0.2
飲食料品	98	+0.2	207	+1.7
家庭用品	6	+4.4	13	+4.5
その他	11	+6.2	23	+4.9
合計	125	+0.4	273	+2.9

(資料) 中国経済産業局

* 全店舗

乗用車新車販売台数（軽乗用車含む）（2月：前年比▲14.7%）は2ヶ月連続で前年比マイナス。普通車（同▲12.8%）、小型車（同▲15.0%）、軽乗用車（同▲16.1%）はそれぞれ前年を下回った。**家電量販店販売額**（同+0.7%）、**ドラッグストア販売額**（同+2.4%）、**コンビニエンスストア販売額**（同+1.2%）は前年比プラスとなったが、**ホームセンター販売額**（同▲1.5%）は前年比マイナスとなった。

乗用車新車販売台数の推移



乗用車新車販売台数
(2026年2月、26年1-2月累計) (単位：百台、%)

	2026年		2026年		
	2月	前年比	1-2月	前年比	
乗用車	普通車	16	▲12.8	30	▲13.6
	小型車	10	▲15.0	19	▲5.5
	軽乗用車	19	▲16.1	38	▲10.1
	合計	44	▲14.7	88	▲10.4

(資料) 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

専門量販店等販売額
(2026年2月、26年1-2月累計) (単位：億円、%)

	2026年	前年比	2026年	前年比
	2月		1-2月	
家電量販店	30	+0.7	65	+4.9
ホームセンター	22	▲1.5	44	▲3.3
ドラッグストア	77	+2.4	159	+2.5
コンビニエンスストア	93	+1.2	194	+1.0

(資料) 経済産業省

4 観光 主要観光施設の利用者・宿泊者数は持ち直しの動きが一服

主要観光施設利用者・宿泊者数（1月）をみると、海響館の来館者数（前年比全増）は前年比プラスとなるが、錦帯橋の渡橋者数（同▲24.4%）、秋芳洞の入洞者数（同▲17.0%）、松陰神社の入込客数（同▲7.4%）はそれぞれ前年比マイナスとなる。温泉地の宿泊者数についても、湯田温泉の宿泊者数（同▲3.9%）、湯本温泉の宿泊者数（同▲6.0%）はともに前年比マイナスとなった。

観光施設利用者数（25年1-12月累計、2026年1月）

（単位：人、%）

	2025年 1-12月		2026年 1月	
		前年比		前年比
海響館	384,029	▲20.2	39,632	全増
錦帯橋	569,247	+0.6	27,845	▲24.4
秋芳洞	460,621	+0.5	15,943	▲17.0
松陰神社	324,045	▲5.2	30,849	▲7.4

（資料）山口県 総合企画部統計分析課、萩市商工観光部観光課

旅館の宿泊者数（25年1-12月累計、2026年1月）

（単位：人、%）

	2025年 1-12月		2026年 1月	
		前年比		前年比
湯田温泉	362,532	+3.6	23,020	▲3.9
湯本温泉	182,282	+7.5	11,619	▲6.0

（資料）山口県 総合企画部統計分析課

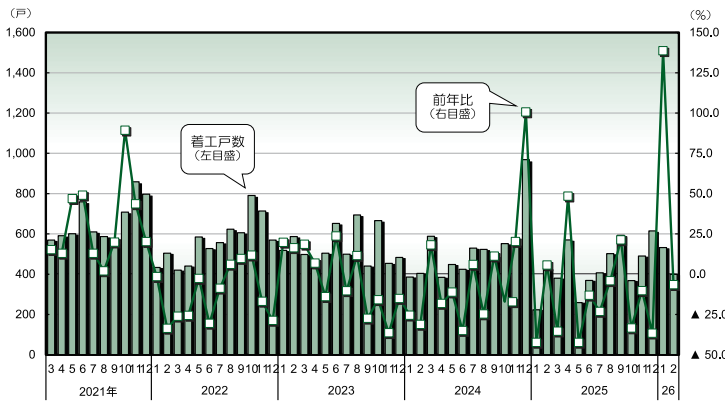
* 温泉旅館組合加盟旅館の宿泊者数（修学旅行生を含む）

* 海響館は2024年12月～2025年7月は改装のため休館

5 建設 住宅建築は2ヶ月ぶりの前年比マイナスとなるが、公共工事は前年比プラス

新設住宅着工戸数（2月：前年比▲6.6%）は2ヶ月ぶりに前年比マイナス。利用関係別では、貸家（同+14.9%）は前年比プラスとなったが、持家（▲17.4%）、分譲（同▲14.9%）は前年比マイナスとなった。

新設住宅着工戸数の推移



（資料）国土交通省

新設住宅着工戸数（2026年2月、26年1-2月累計）

（単位：戸、%）

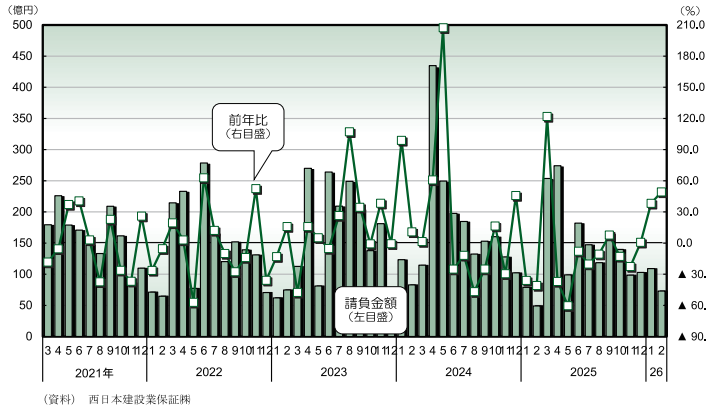
	2026年 2月		2026年 1-2月	
		前年比		前年比
持家	180	▲17.4	420	+25.7
貸家	162	+14.9	331	+51.1
給与	0	▲100.0	0	▲100.0
分譲	57	▲14.9	180	+89.5
マンション	0	±0.0	55	全増
合計	399	▲6.6	931	+43.2

（資料）国土交通省

* 給与は社宅や官舎等

公共工事請負金額（2月：前年比+49.2%）は3ヶ月連続で前年比プラス。発注者別では、国（同+67.5%）、県（同+16.2%）、市町（同+58.1%）はそれぞれ前年比プラス。請負総額2億円以上の大型工事は、件数が11件（同+5件）、対象額が約30億9千万円（同+19億6千万円）と前年比プラスとなる。

公共工事請負金額の推移



公共工事請負金額（2026年2月、25年4月-26年2月累計）
（単位：億円、%）

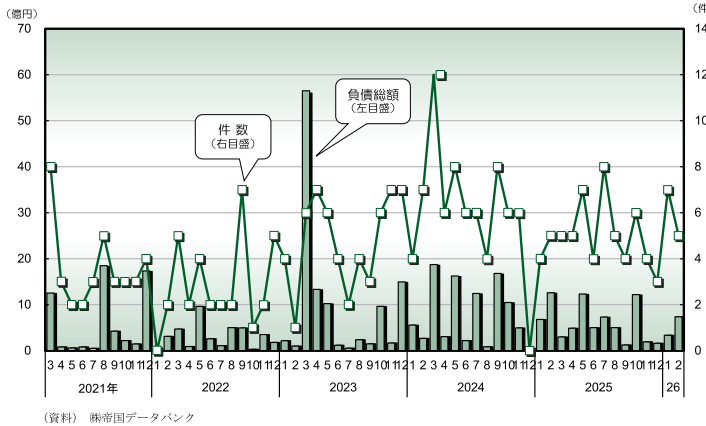
	2026年 2月		25年4月- 26年2月	
	前年比	前年比	前年比	前年比
国	1	+67.5	235	+12.2
独立 行政法人等	0	▲100.0	79	▲41.7
県	20	+16.2	528	+0.8
市町	35	+58.1	612	▲36.7
その他の 公共的団体	12	2.1倍	55	+60.7
合計	73	+49.2	1,509	▲19.3

（資料）西日本建設業保証㈱

6 倒産 負債総額は2ヶ月連続で前年比マイナスとなる

企業倒産（2月）は、**件数**が5件（前月比▲2件、前年比±0件）で、**負債総額**は7億4千万円（前月比+4億円、前年比▲5億2千万円）となり、2ヶ月連続で前年比マイナスとなる。**代位弁済**（2月）は、**件数**（前年比▲69.2%）、**金額**（同▲55.0%）ともに前年比マイナスとなった。

企業倒産件数・負債総額の推移



企業倒産件数・負債総額
（2026年2月、26年1-2月累計）

（単位：件・億円、%）

	2026年 2月		2026年 1-2月	
	前年比	前年比	前年比	前年比
件数	5	±0.0	12	+33.3
負債総額	7	▲41.5	11	▲44.7

（資料）㈱帝国データバンク

代位弁済件数・金額
（2026年2月、25年4月-26年2月）

（単位：件・億円、%）

	2026 2月		25年4月- 26年2月	
	前年比	前年比	前年比	前年比
件数	16	▲69.2	348	+8.1
金額	2	▲55.0	33	+7.7

（資料）山口県信用保証協会

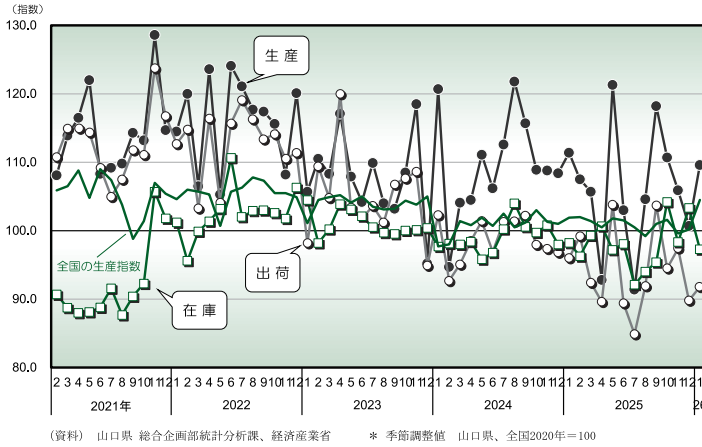
7

生産

鉱工業生産指数は4ヶ月ぶりに前月比プラス

鉱工業生産指数（季節調整値）（1月：前月比+7.0%）は109.6で4ヶ月ぶりに前月比プラスの一方、前年比は▲3.1%と3ヶ月連続でマイナスとなる。**出荷指数**（同）（1月：同+14%）は91.8で2ヶ月ぶりの前月比プラス。**在庫指数**（同）（1月：同▲5.8%）は97.3で2ヶ月ぶりの前月比マイナスとなる。

鉱工業指数の推移



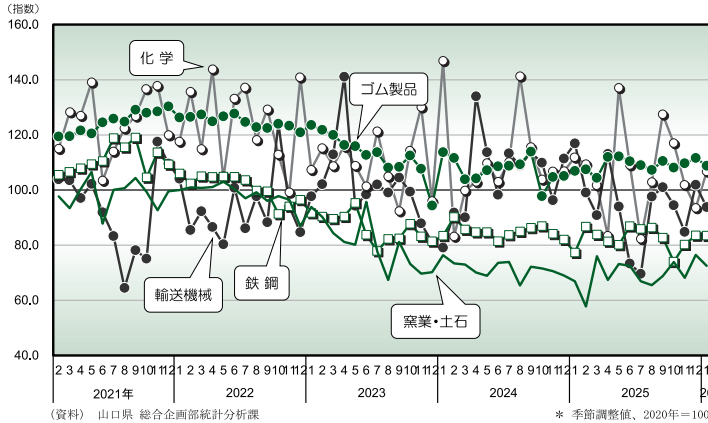
鉱工業指数（25年1-12月、平均2026年1月）

		2025年		2026年	
		1-12月	前年比	1月	前年比
生産	山口県	106.1	▲4.1	109.6	▲3.1
	全国	102.0	+0.8	104.5	+0.7
出荷	山口県	94.1	▲5.0	91.8	▲6.0
	全国	100.3	+0.4	102.1	+1.2
在庫	山口県	98.1	▲0.9	97.3	▲0.9
	全国	100.1	▲2.1	97.8	▲4.3

（資料）山口県 総合企画部統計分析課、経済産業省
* 指数は季節調整値、前年比は原数値
（山口県、全国2020年=100）

業種別に指数（季節調整値、2020年=100）の推移をみると、**輸送機械**（前月比▲7.9%）、**鉄鋼**（同▲0.1%）は前月比マイナスとなるも、**化学**（同+14.1%）は前月比プラスとなる。品目別にみると化学では医薬品（同+25.4%）等の生産が上昇した。

鉱工業生産指数の推移（業種別）



鉱工業生産指数
（業種別：25年1-12月、平均2026年1月）

		2025年		2026年	
		1-12月	前年比	1月	前年比
鉄	鋼	82.4	▲3.2	83.5	+6.6
輸送機械		94.7	▲10.5	93.8	▲22.2
窯業・土石		69.4	▲3.2	72.5	+6.5
化学		106.5	▲5.1	106.7	▲6.6
ゴム製品		109.1	+1.4	108.8	+2.0

（資料）山口県 総合企画部統計分析課
* 指数は季節調整値、前年比は原数値（2020年=100）

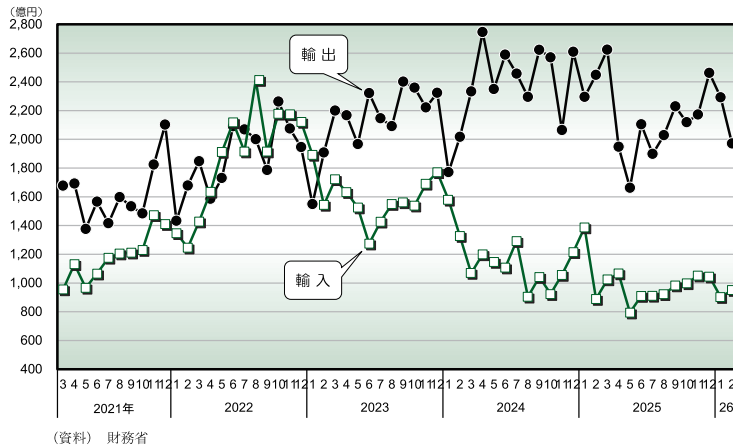
8

貿易

輸出額は3ヶ月連続で前年比マイナス、貿易バランスは37カ月連続の出超

輸出額（2月：前年比▲19.5%）は3ヶ月連続で前年比マイナス。主要5港全てで前年を下回った。輸入額（2月：同+7.1%）は4ヶ月ぶりに前年比プラス。アラブ首長国連邦からの原油等が減少した徳山港を除く主要4港で前年比プラスとなった。なお、貿易バランス（輸出額－輸入額）（2月：+1,022億円）は37ヶ月連続の出超。

貿易額（輸出・輸入額）の推移



貿易額（2026年2月）

(単位：億円、%)

	輸出額	前年比	輸入額	前年比
下 関	717	▲ 30.5	199	+16.9
宇 部	42	▲ 20.4	96	+51.4
徳 山	362	▲ 9.6	371	▲ 17.1
防 府	791	▲ 5.8	106	+9.4
岩 国	54	▲ 53.4	178	+67.9
合 計	1,972	▲ 19.5	950	+7.1

(資料) 門司税関

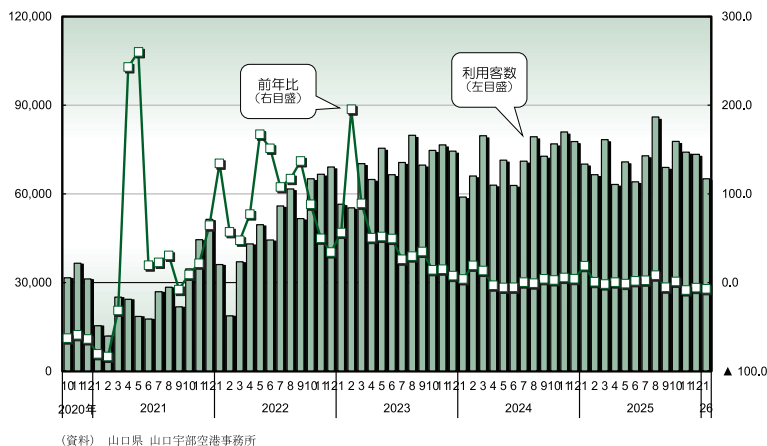
(資料) 財務省

トピックス

2025年度の宇部空港の利用客数は、前年を下回る

山口宇部空港（東京線）の利用客数（2025年度累計：2025年4月～2026年1月）は約71万6千人と前年同期実績を下回っている（前年比▲1.3%）。また新型コロナウイルス感染拡大前の2018年度（約100万人）の水準には至っておらず、前年までの航空需要の持ち直しの動きが一服している。

公示地価（商業地・住宅地）の推移（前年比）



山口宇部空港利用状況（旅客・貨物）
（2026年1月、2025年度累計）

(単位：人、t、%)

	2026年 1月	前年比	2025年 年度	前年比
旅客	65,111	▲ 7.1	716,369	▲ 1.3
貨物	114	▲ 13.3	1,277	▲ 3.8

(資料) 山口県 山口宇部空港事務所、交通政策課
*2025年度は25年4月～26年1月累計 前年比は同期間での比較

(資料) 山口県 山口宇部空港事務所



広島県内経済の動き

広島県内景気は、緩やかな回復基調にある

現状



新設住宅着工戸数は2ヶ月ぶりに前年比プラスとなるが、全体として弱めの動き。輸出額は3ヶ月ぶりに前年比プラスで、生産活動も2ヶ月連続で前年比プラスとなるなど、総じて持ち直しの動きがみられる。また、雇用情勢が緩やかに改善する下で、個人消費は物価上昇の影響を受けながらも緩やかに回復するなど、県内景気全体としては緩やかな回復基調にある。

先行き



昨今の物価上昇に伴う企業収益や消費行動への影響に加え、イラン情勢不安定化の下でのホルムズ海峡封鎖による原油高等の経済的影響を注視する必要があるものの、企業収益の先行きは不透明であるため、天気マークは「曇」のままとした。

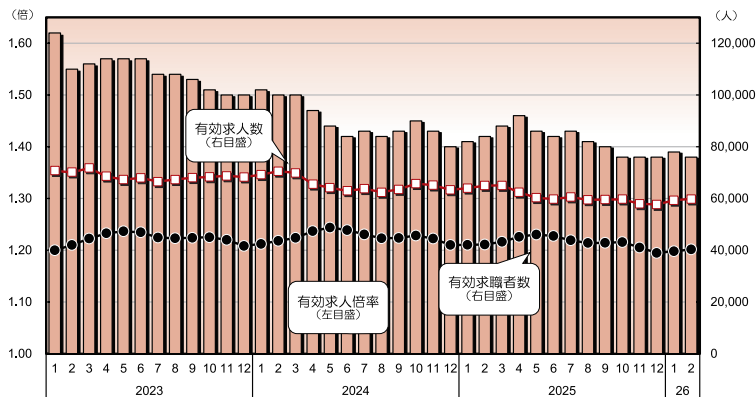
	景況判断		コメント
	方向		
雇用情勢			有効求人倍率が1.38倍と高水準を維持するなど、緩やかに改善している(2月)。
個人消費			百貨店・スーパー販売額が8ヶ月連続で前年比プラスとなり、緩やかな回復基調にある(2月)。
住宅建築			新設住宅着工戸数は2ヶ月ぶりに前年比プラス。分譲が大幅な前年比プラスとなるも、全体として弱めの動きとなっている(2月)。
公共工事			公共工事請負金額は5ヶ月連続で前年比マイナスとなるも、総じて横ばい圏内の動きとなっている(2月)。
生産活動			鉱工業生産指数は2ヶ月連続で前月比プラスとなり、全体として緩やかに持ち直している(2月)。
輸出			輸出額は3ヶ月ぶりに前年比プラスとなり、全体として緩やかに持ち直している(2月)。
倒産			負債総額は3ヶ月連続で前年比プラスとなるが、全体として横ばい圏内の動きとなっている(2月)。

*「景況判断」および「方向」は、山口県同様、5段階の天気マーク(晴、晴一部曇、曇、曇一部雨、雨)と前月からの基調としての変化方向(好転・不変・悪化)で表示

1 雇用

有効求人倍率は1.38倍と高水準を維持(2月:前月比▲0.01P 季節調整値)

有効求人倍率(有効求人数・有効求職者数)の推移

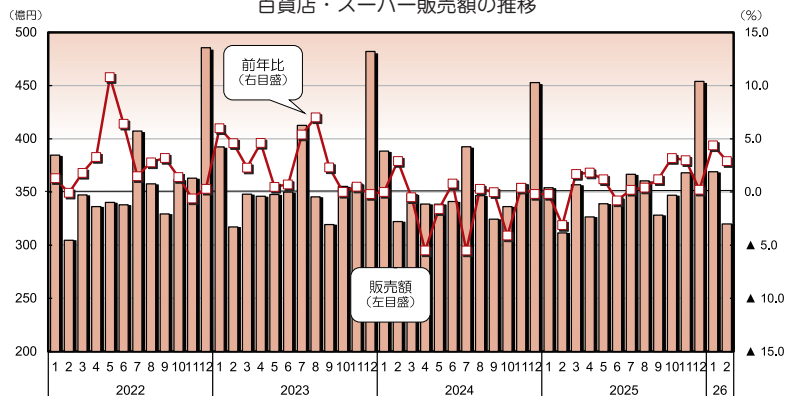


(資料) 厚生労働省 広島労働局 * 有効求人倍率は季節調整値、有効求人数及び有効求職者数は原数値

2 消費

百貨店・スーパー販売額は8ヶ月連続で前年比プラス(2月:前年比+2.9%)

百貨店・スーパー販売額の推移

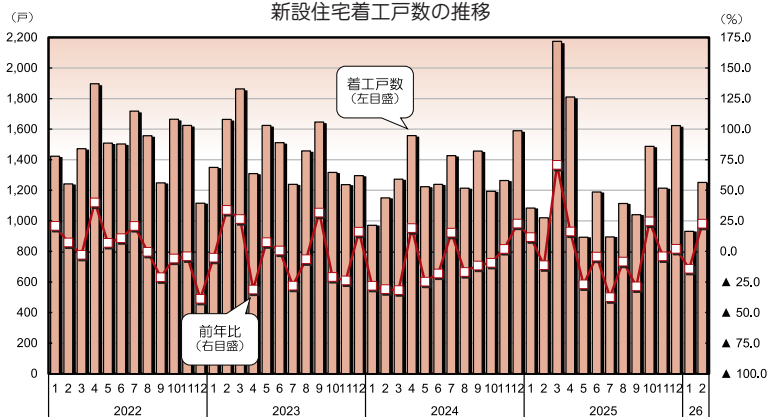


(資料) 経済産業省 * 全店舗

3 建設 (住宅)

新設住宅着工戸数は2ヶ月ぶりに前年比プラス(2月:前年比+22.6%)
(持家:同▲5.4% 貸家:同▲40.0% 分譲:同+212.0%)

新設住宅着工戸数の推移

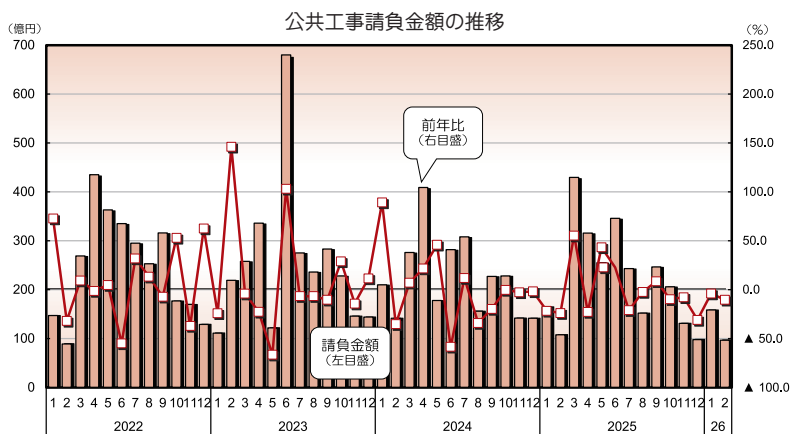


(資料) 国土交通省

4

建設
(公共工事)

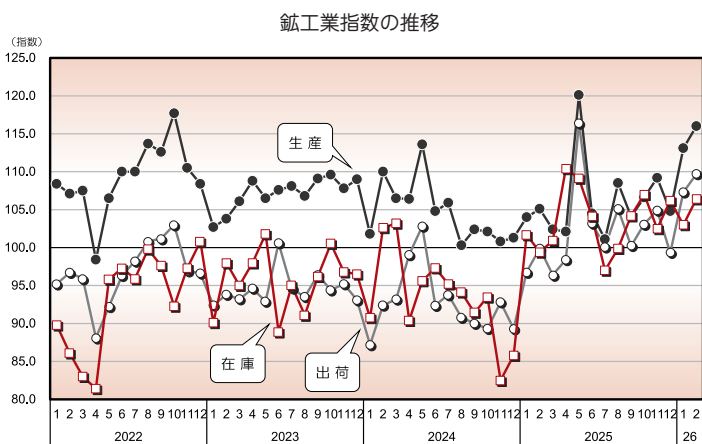
公共工事請負金額は5ヶ月連続で前年比マイナス（2月：前年比▲10.4%）



5

生産

鉱工業生産指数は2ヶ月連続で前月比プラス（2月：前月比+2.6% 季節調整値）

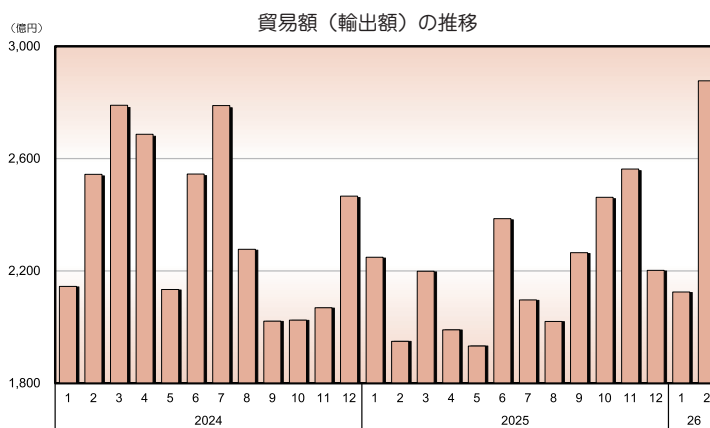


鉱工業生産指数
自動車：前月比+1.3%

6

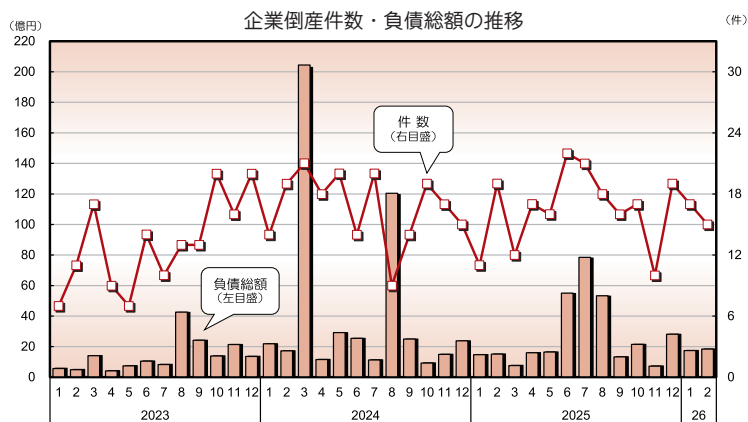
輸出

輸出額は3ヶ月ぶりに前年比プラス（2月：前年比+47.6%）



7 倒産

負債総額は3ヶ月連続で前年比プラス（2月：前年比+21.8%）





福岡県内経済の動き

福岡県内景気は、一部で弱めの動きがみられるものの、
全体としては緩やかに回復している

現 状



新設住宅着工戸数が2ヶ月連続で前年比マイナスとなる一方、個人消費は百貨店・スーパー販売額が2カ月連続で前年比プラスとなるが、総じて横ばい圏内の動き。輸出額は3ヶ月連続で前年比プラスとなり、生産も2ヶ月連続で前月比プラス。県内景気は一部で弱めの動きがみられるものの、全体としては緩やかに回復している。

先 行 き



昨今の物価上昇に伴う企業収益や消費行動への影響に加え、イラン情勢不安定化の下でのホルムズ海峡封鎖による原油高等の経済的影響を注視する必要があるものの、企業収益の先行きは不透明であるため、天気マークは「曇」のままとした。

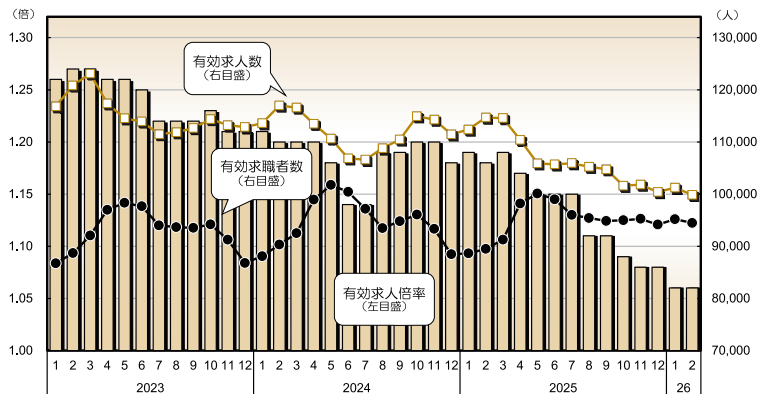
	景況判断		コメント
	景況	方向	
雇用情勢			有効求人倍率は1.06倍と前月同比率となるも、全体としては緩やかに改善している（2月）。
個人消費			百貨店・スーパー販売額は2ヶ月連続で前年比プラスとなるが、全体として横ばい圏内の動きとなっている（2月）。
住宅建築			新設住宅着工戸数は2ヶ月連続で前年比マイナスとなったものの、総じて横ばい圏内で推移している（2月）。
公共工事			公共工事請負金額は3ヶ月連続で前年比マイナスとなるが、全体として横ばい圏内の動き（2月）。
生産活動			鉱工業生産指数は2ヶ月連続で前月比プラスとなるが、全体として横ばい圏内の動きとなっている（1月）。
輸 出			輸出額は3ヶ月連続で前年比プラスとなるが、総じて横ばい圏内で推移している（2月）。
倒 産			負債総額は4ヶ月連続で前年比マイナスとなるが、全体として横ばい圏内で推移している（2月）。

* 「景況判断」および「方向」は、山口県同様、5段階の天気マーク（晴、晴一部曇、曇、曇一部雨、雨）と前月からの基調としての変化方向（好転・不変・悪化）で表示

1 雇用

有効求人倍率は1.06倍と前月同比率(2月:前月比±0.00P季節調整値)

有効求人倍率(有効求人数・有効求職者数)の推移



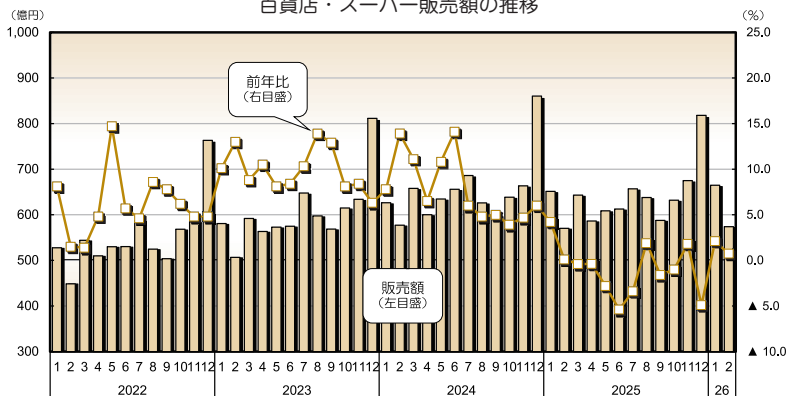
(資料) 厚生労働省 福岡労働局

* 有効求人倍率は季節調整値、有効求人数及び有効求職者数は原数値

2 消費

百貨店・スーパー販売額は2ヶ月連続で前年比プラス(2月:前年比+0.7%)

百貨店・スーパー販売額の推移



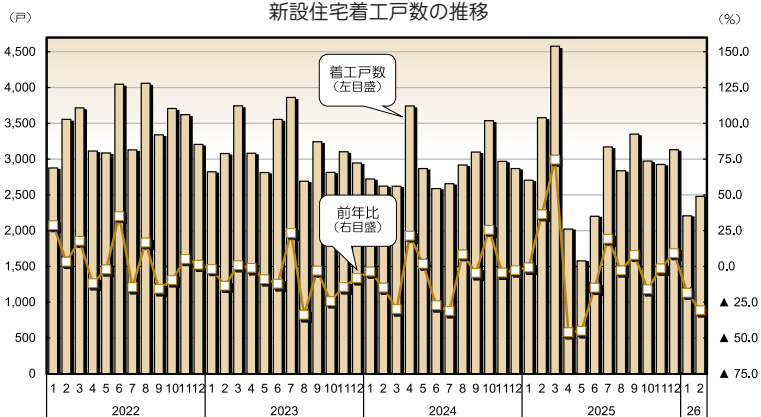
(資料) 経済産業省

* 全店舗

3 建設 (住宅)

新設住宅着工戸数は2ヶ月連続で前年比マイナス(2月:前年比▲30.8%)
(持家:同▲17.0% 貸家:同▲34.0% 分譲:同▲32.2%)

新設住宅着工戸数の推移



(資料) 国土交通省

7

倒産

負債総額は4ヶ月連続で前年比マイナス（2月：前年比▲35.2%）

